

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州の暮らしに息づく民俗芸能カレンダープロジェクト
事業主体 (連絡先)	南信州民俗芸能継承推進協議会
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	441,417 円

事業内容

南信州の民俗芸能について、開催日を記した令和2年(2020年)版カレンダーを制作した。制作にあたっては、企業から寄付金(協賛金)をいただいたほか、地元保存会、市町村教育委員会、公民館、小中学校の協力を得て実施した。

1 南信州民俗芸能カレンダーの制作

- (1) 制作枚数
15,000枚(B2サイズ)
- (2) 配布先
地元小中学校と通学児童生徒ほか

2 WEB ページの制作

(<https://minamishinshuminzoku.wixsite.com/website-1>)

- (1) 想定する利用者
小中学校の児童生徒(学習教材として活用)
南信州の祭りや民俗芸能を初めて学ぶ方

- (2) 内容
民俗芸能の解説
卓上版民俗芸能カレンダーのデータのアップロード(スケジュール管理ツールとして活用)



【制作したカレンダー】

事業効果

メインターゲットを小中学校の児童生徒に設定し、すべての小中学校と通学児童生徒(13,477枚)に配布した。また、広く地域住民の皆さんに見ていただけるように地元企業(834枚)や市町村等(511枚)にも配布した。

児童生徒がカレンダーを家に持ち帰ったことで、その家族が目にするところとなり、また、役場等の公的機関、企業の事業所や店舗等に掲載したことで、多くの地域住民が目にするところとなった。

地域住民からは、「こんなにたくさんの芸能があることを初めて知った。」「舞い手の子どもたちがかっこいい」など、評価の声をいただくことができた。

今後の取り組み

地域に伝わる民俗芸能について、一定の関心を持ってもらうことが出来たと考えている。これからもいろいろなアイデアで学校、家庭、企業の理解を促し、地域全体の気運向上を図っていく。

【目標・ねらい】

南信州が持続可能な地域となるため、地域の誇りである民俗芸能を継承すること。そのための後継者育成、気運醸成を進めること。

※自己評価【B】

全国的に見てもこのような取組事例は他所で聞いたことはなく、先駆的、モデル的な取り組みであった。地元新聞社から取材があり、本事業について2度も記事を書いていただいた。